

平成16年度

中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会

第1回 比屋根湿地・泡瀬地区海岸整備専門部会資料

住民意向調査等について

平成16年 8月27日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部
沖縄県土木建築部
沖縄市東部海浜開発局
(財)港湾空間高度化環境研究センター

1. 住民意向調査等の目的

比屋根湿地及び泡瀬地区海岸整備にあたり、住民意向を反映した計画づくりを図るため、アンケート調査、ヒヤリング調査及び干潟・野鳥観察会の実施により、地元住民からの意向・要望を把握するとともに、環境の現状に対する関心を深め、環境保全等に対する意識啓発を図ることを目的とする。

2. 調査内容

2.1 アンケート調査

(1) アンケート調査内容

当該地区周辺に居住している地元住民を対象として、環境の現状を知らしめると共に環境保全等への意識啓発を図りつつ、比屋根湿地・泡瀬地区海岸の環境面や利用面の問題点及び、改善点(意向・要望)等についての意見をアンケート調査で把握する。

表1 アンケート調査方法(案)

調査対象	泡瀬地区住民
配布数	約2,000部 泡瀬地区の各丁・字の人口・世帯数を考慮して、配分を設定する。
抽出方法	地元自治会等にご協力を頂き配布・回収を行う。地元住民への配布は任意にお願いする。
実施方法	

アンケート配布数は、統計学的に妥当と考えられる標本数(約1,000件：出典『統計実務基礎知識 参考書(総務省統計局統計基準部)』)、回収率を約50%と想定して設定。

(2) アンケート調査項目

アンケート調査項目は、目的に沿った内容とし、環境の関心を深めて頂きつつ、住民のイメージする将来像やその実現のための方策を探ることができるような設問とする。具体的には以下のような調査項目から設問を設ける。

表2 アンケート調査項目(案)

調査項目	<ul style="list-style-type: none">・現状をどのように感じているか・なぜ環境が悪化しているか、その要因は何か・過去に利用したことはあるか・利用上の問題点・比屋根湿地・泡瀬地区海岸はどうあるべきか・環境を良くするために何をすればよいか・その他
------	--

2.2 ヒアリング調査

(1) ヒアリング調査内容

比屋根湿地や泡瀬地区海岸を実際に利用していたり、そこから何らかの影響を受けている団体（個人）また当該地区に隣接して居住している住民の代表等に対して、アンケート調査結果に基づき、環境面や利用面の問題点及び、改善点や改善策等について意見を聴取する。

(2) ヒアリング対象と項目

ヒアリング対象と項目は以下のとおり。

表3 ヒアリング対象及び項目（案）

ヒアリング対象	・比屋根湿地や泡瀬地区海岸を利用している団体(個人) ・当該地区に隣接して居住する住民の代表等（各自治会代表等）
ヒアリング項目 （アンケート調査結果に基づき設定）	・地域住民の環境に対する関心の現状を踏まえてどのように感じたか ・環境面や利用面の問題点 ・望ましい環境像 ・整備のあり方 ・具体的な改善策

2.3 干潟・野鳥観察会

(1) 観察会の内容

地域住民の環境の現状に対する関心を深めるための一環として、干潟・野鳥観察会を開催する。観察会は、比屋根湿地及び泡瀬干潟に降りて、実際に生物等を見たり触れたりする自然体験を通して、環境の現状・課題をより深く知ってもらうことを目的とする。

観察会の結果として、参加者の感想等をアンケート調査票に記入して頂き、環境改善にかかる具体策等検討の資料とする。

(2) 開催時期等

干潟・野鳥観察会の時期等の開催内容（案）は以下のとおり。

表4 干潟・野鳥観察会の開催内容（案）

時 期	野鳥の渡りの時季（11月）に1回実施。
対 象	対象は基本的に地域住民とし、沖縄市公報や学校（小・中・高）等に募集案内を出す（参加者の規模は50人程度を想定）。
内 容	・県総合運動公園駐車場に集合、受付 ・オリエンテーション（資料の配布・説明等） ・干潟・野鳥観察会（比屋根湿地・県総合運動公園前干潟） ・アンケート調査票の配布・記入